

キャラクター名  
神園 英知 (かみぞの えいち)

プレイヤー名

シンドローム	オルクス ノイマン	ワークス	UGNチルドレンB	カヴァー	高校生
オプション		年齢	18歳	性別	男
覚醒	忘却	衝動	飢餓	初期侵食率	31 %
出自	天涯孤独	経験	純粋培養	邂逅	幼子

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	26
肉体	0	0	1			1	行動値	12
感覚	1	1	2			4	(非装備時)	12
精神	4	0	0			4	戦闘移動	17
社会	3	0	0			3	全力移動	34

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	2		RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達		
運転:			芸術:			知識:			情報:	UGN	1
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
指し示す道筋		0				コスト9 対象3体、[導きの華]達成値+LV×2[アドヴァイス]C値-1、ダイス+LV個
示す力		0				コスト13 対象3体、[導きの華]達成値+LV×2[アドヴァイス]C値-1、ダイス+LV個、[かの法則]ダメージ+LV1[D]3倍

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
情報収集チーム	
自動巡回ソフト	
UGN幹部	
噂好きの友人	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
触媒<カタリスト>	P	N		
鈴ヶ森 累	P 純愛	N 恐怖		
吉井 久訓 (PC3)	P 誠意	N 恐怖		
姫乃城 紫穂 (PC1)	P	N		
茂垣 裕人 (PC4)	P	N		
テレーズ・ブルム	P	N		
	P	N		

最大財産P: 6 残り財産P: 0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コンセントレイト:オルクス	2	2	メジャー	-	-	シンドローム	-	
効果:	メジャーアクションの判定の達成値+LV×2							
要の陣形	3	3	メジャー	-	3体	シンドローム	-	
効果:	エフェクトを組み合わせた行動の対象を3体に変更、Lv回まで使用可							
アドヴァイス	5	4	メジャー	視界	単体	交渉	-	
効果:	次に対象が行うメジャータイミングのC値-1、ダイス+LV個							
ファンアウト	1	4	セットアップ	至近	範囲(選択)			
効果:	対象は戦闘移動を行なう。移動先は対象が決定する。対象はこの効果を拒否可能。このエフェクトはあなたを対象にできず、1シナリオにLV回まで使用できる。							
触媒<カタリスト>	1							
効果:	イニシアチブプロセスにあなた以外のシーンに登場しているキャラクター一人を選択する。選択したキャラクターはメインプロセスを行える。							
声なき声	★							
効果:	遠くの人へ思念を届けられる。							
写真記憶	★							
効果:	目にしたものを細部に至るまで詳細に記憶している。							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

[https://picrew.me/ja/image\\_maker/2057386/complete?cd=m7pINOWLYp](https://picrew.me/ja/image_maker/2057386/complete?cd=m7pINOWLYp)

幼い頃からUGNに保護され、育てられている少年。  
物静かで、張り詰めた糸のような警戒心を剥き出しにしている。  
他人に近付かれることを嫌っており、大切な人が出来ることを極端に嫌がっている。  
その心の根幹には鈴ヶ森累の存在が大きいだろう。  
幼い頃から触媒としての力を鍛えられ、ジャームと戦う日々を過ごしていた彼は情操教育といったことは経験がなく、精神面は無垢なまま成長していた。  
そんな中、人間として優しく接してくれて、人間らしい感情を教えてくれたのが、鈴ヶ森累という少女だった。  
彼女に抱いた感情は、きっと、初恋だった。  
彼女が憎むジャームと共に憎み、彼女の支えになりたいと、ずっと思っていた。  
なのに、彼女はいなくなってしまった。

彼女はきっと死んでいない。  
何処かで生きているはずだ。  
そう願ひ、彼は彼女の居場所を守ることにした。  
大切な彼女の居場所を。

大切な人を作らないのも、特別な人を作らないのも、友人も家族もいらぬのも、全ては彼女の為。  
彼女がいなくなったその瞬間から、彼の時間は止まってしまった。

与えられた名前は墓守 (グレイヴキーパー)